

## 平成 28 年 9 月 魚津市定例記者会見

日時：平成 28 年 8 月 31 日（水） 午前 11 時～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、  
KNB、富山テレビ、チューリップテレビ、NICE TV、  
ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長  
企画政策課長

### 1. 市長からの説明事項

#### (1) 8 月を振り返って

##### ①第 47 回じゃんこい魚津まつり

8 月 5～7 日、天候にも恵まれ、大勢の方々に祭りを楽しんでいただいたと  
思っている。期間中、市内外から約 8 万 8,000 人の皆さんにご覧いただいた  
ということでも嬉しく思っている。また、たてもんは今年の秋にユネスコ無  
形文化遺産への登録が予定されているところだが、たてもん祭りを支  
えていただく協力隊（ボランティア）に過去最高の 320 人の方々が集  
まった。また、せり込み蝶六も企業や職域、地域など様々なグループ 41  
チーム 3,100 人のご参加をいただき、魚津の夏の一大イベント「じゃん  
こい魚津まつり」のフィナーレを飾った。今年の祭りも盛大に開催する  
ことができ、関係の方々に感謝申し上げるとともに、ご参加いただいた  
皆様にもお礼申し上げたい。また、祭りを報道していただいた皆様にも  
お礼を申し上げる。

##### ②第 30 回全日本大学女子野球大会

10 年ぶりに高田宮妃久子殿下をお迎えし、8 月 26 日の歓迎レセプション、翌 27  
日の開会式にご臨席いただいた。今回は全国から 24 大学 23 チームが参加、  
レセプションには約 500 名の選手が参加した。

8 月 27 日はあいにくの雨で、開会式の会場を桃山球場からありそドームに  
変更。妃殿下は第一試合の途中までご観覧いただくことができた。本当に  
熱心に試合をご覧になっておられたのが印象的であった。この大学女子  
野球が本当にお好きで応援していらっしゃるのが、傍にいても伝わって  
きた。

試合日程は、昨日（8/30）が雨で 1 日延びて明日（9/1）が決勝戦。試合開始は 1  
時の予定。

#### (2) 9 月市議会定例会に提案する補正予算の主なもの

9 月 5 日開会し、10 月 7 日まで会期 33 日間。補正予算の主な内容は、  
一般会計が金額で 7,177 万 2,000 円。昨年と比較すると額的には小規模  
なものになっている。主

な内容の1点目で、創業者支援事業（新規開業者への改装費用などを助成）に1,400万円を計上している。魚津のまちなかの賑わい創出、新しく起業する人たちへの応援を積極的に進めようということで盛り込んだ。2点目は子育て世代包括支援センター事業（妊娠期から子育て期に亘る切れ目ない総合相談対応。通称日本版ネウボラ。）で400万円余を計上している。3点目は農産物ブランド化推進（機械・施設整備等の導入助成）で500万円余。

特別会計では、農業集落排水事業、国民健康保険事業、介護保険事業、水族館の各会計において、施設修繕費や額の確定に伴う国県支出金返納金、積立金など所要の補正を行うもので、合わせて9,700万円余である。

### (3)魚津市総合防災訓練の概要

9月4日（日）、午前8時30分～12時まで片貝地区をメイン会場に総合防災訓練を実施する。上野方地区と西布施地区がサブ（サテライト）会場となり、3地区6会場での実施だが、複数地区同時に実施は魚津市総合防災訓練としては初めてのこと。

訓練の内容は、地震発生を想定し、住民参加による避難訓練と避難所運営訓練を行う。なお、避難所運営訓練は市の総合防災訓練では初めての内容になる。関係機関による救助訓練、水防訓練も併せて行う予定。参加予定は地域住民など約300名を予定している。

### (4)あいの風とやま鉄道魚津駅 列車到着メロディが決定

前回の定例会見でも話題になっていたが、あいの風とやま鉄道魚津駅の列車到着メロディが決定した。詳細は産業建設部長から説明する。

全国から73曲の応募があり、8/10開催の選考委員会で次の曲を最優秀曲に決定。来年春からの使用に向け、準備を進める。

採用作品タイトル Uozu\_\_Chime（うおづ チャイム）

作曲者 中村孝幸さん（東京都杉並区在住）

なお、急きょ設けた選考委員特別賞には、東京都練馬区在住の柳田淳記さん（15歳）の作品「せり込み蝶六～踊躍歓喜～」が選ばれた。

## 2. 質疑応答での市からの説明内容

### 「あいの風とやま鉄道魚津駅 列車到着メロディ」

#### 《記者からの質問》

作者（中村孝幸さん）は魚津市にゆかりの方か。応募のきっかけは。

#### 《回答》

ゆかりの方ではない。

曲は市ホームページや公募サイトなどを利用して全国に広く募集した。中村さんからは、魚津に来られたことがあるやに聞いており、魚津のことを思い浮かべなが

ら作曲したと伺っている。

## 「安倍首相とロシアのプーチン大統領との面会、魚津市の漁業振興（遠洋漁業）」

### 《質問》

9月2日に、ウラジオストクで安倍首相とプーチン大統領が会うということで、日露関係では北方領土問題がまず上がるが、魚津市においては基幹産業の一つである遠洋漁業もテーマの一つかと思う。第八珠の浦丸も今はサンマ漁船になってしまったが、サケ・マス交渉であるとか漁業の行方について、日露の関係で注目していることがあればお聞かせ願いたい。

サンマ漁もロシア 200 海里内での操業になることから民間交渉でもモスクワまで出向いているという苦労話を聞いている。日露の雪融けが地域の産業の活性化につながればと思うがどのような感想か。

### 《回答》

魚津港から第八珠の浦丸が出漁するにあたり見送りにも参加した。県内から出港するサンマ漁船はこの船だけということで、出港の際に船主の中島さんともお話をしたのだが、遠洋漁業が廃れるということは結果として沿岸漁業の担い手の減少にもつながると。要は漁業に携わる若い人たちが減っていくことになるので、今はサンマだけになっているがこれを続けていきたいと。そのためにどんな取り組みを進めればいいのか、中島さんも努力するが市も地域の漁業を守るという意味でどんな応援ができるのか考えてもらえないかというお話をいただいた。第八珠の浦丸の再建時に市も少々応援はしているが、このようなハード面の支援とは別に漁業を続ける中でのコストが負担になっているので、産業を守るという視点でどのような取り組みができるのか一緒に考えてほしいということで、そのとおりで思っている。

ただ、地域の取り組みには限界があるので大本の話として、漁業が成り立つような環境作りを国と国との間で取り組んでいただきたいと思います。

## 「9月補正予算」

### 《質問》

創業者支援事業の補正予算は、追加で申請があったのが理由か。件数は。

### 《回答》

当初予算に310万円を計上していたが、申込者が多く、今後も申請を予定している方々がいるということで補正対応となった。当初予算と今回の補正を合わせ計38件分の助成。

### 《質問》

市長が公約等で掲げられていた内容は反映されているか。また、27年度決算議案を見て、市の財政指標や財政状況にどのような感想をもつか。

### 《回答》

当初予算の段階でかなり目いっぱいであり、財源的にも新しいものを入れるのは厳しいかなというのが正直なところ。ただ、たてもんがユネスコの無形文化遺産に登録されることに伴い、これをどう生かすかという予算を少し取り込んだりはして

いるが大きく表れるものはない。新年度予算では、編成方針づくりを進めていく中で私が考えていることをどこまで表せるか考えていきたい。

財政状況はそんなに悪化しているわけではなく、あまり変わらないといったところかと。本市は経常経費に充てる一般財源の割合が高い状態にあるのでそれを少しずつ余裕のある形にしていかないと事業が組めない状況になるので、その比率をどう改善していくかというのがこれからの課題だが、そんなに簡単ではない。事務事業の見直しは当然やっていかなければならないが、どこまでやれるかはこれからになる。

## 「小学校の統廃合計画」

### 《質問》

市長は6月議会で、道下小と経田小の統合についてはまだ理解が得られていないと答弁されていたが、その点について市長就任前と現在とで見解の変化はあったか。議会答弁を聞くと、住民との交渉が難航しているのではないかという印象をもったが。今後、市として路線を大きく変えることもあるのか。

### 《回答》

今の段階で、この間お話した見解と相違はない。前にもお話したとおり基本的には子どもの数の推移をみて議論する必要があるということに尽きる。状況の変化を感じるような情報は聞いていない。

道下と経田の統合については、推進計画を策定した中では（統合を）平成35年度をめどということ、それに向けて各地区で説明をしたが、経田地区においては35年度に道下と統合するという点についてはその時点では同意しかねるというのが住民の声であった。

今の時点で、平成35年度で必ず統合するとかそういうことを確定的に言うのはどうかと従来から話をしてきた。今の段階では、（統合を）進めていく理解が得られていないということであり、一方で、では理解が得られていないから（統合を）やらないのかと言われると、子どもの数の推移を見ていく必要があると、そういう答えになる。

### 《質問》

計画ができた段階で、経田（地区）の同意はなかったのか。また、現時点で、経田は同意していないと捉えていいのか。

### 《回答》

当然のことながら、各地区で（計画への）賛否はある。計画は平成26年度に市全体を見渡し、一つのめどを示しながら策定したもの。一部反対があったとしてもそれを理由に（反対地区を）除外するとなれば市全体の計画が根底から覆ることもなりかねない。ただ、策定時には（統合時期を）平成35年度という、その時点ではかなり先を見通しているの、子どもの数の推移も見ながら途中で協議もしていかなければならないと、そういうことも含めた策定だった。

なお、統合にあたっては地区から同意書をいただいているが、経田地区からはい

ただけなかった。

(小学校統廃合) 推進計画は市と市教委の方針を示したものだが、小学校を4校に統合するにあたっては地区の皆さんと協議し理解を得ながら進めることとしている。経田地区では、若手の保護者からはやむを得ないという声があったものの、年配の方々を中心に学校がなくなること賛同しかねるという声が多く、市教委の姿勢として、今しばらく児童数の推移をみながら改めて話し合いをして理解を得るようにしたいということになっている。再度協議するまでには至っていないが、市の方針に変わりはない。

#### 「氷見市長選挙に県の元土木部長が出馬表明」

##### 《質問》

氷見市長選挙に、市長の元の職場の同士でもある林氏が出馬表明されたが、その感想は。また、今後アドバイスを求められることがあれば、どう対応するのか。

##### 《回答》

報道で初めて知ったくらいで、ちょっと驚いたというのが正直なところ。お住まいのふるさとのことを真剣に考えて決心されたのだろうと受け止めている。アドバイスといっても、環境も全然違うと思うのでそんな場面はないだろうと思うが。(現職の本川市長と林氏以外に) 立候補される方が他にもあれば、それぞれの意見をぶつけあって地域の活性化につなげていただければと思う。